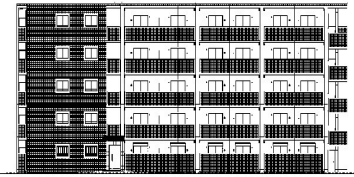


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)MISTRAL加古川市寺家町 共	階数	地上5F
建設地	加古川市加古川町寺家町字西ノ町	構造	RC造
用途地域	市街化区域、近隣商業地域、準防火	平均居住人員	75 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2021年12月 予定	評価の実施日	2021年4月13日
敷地面積	1,091 m ²	作成者	株式会社GUIS 古澤
建築面積	517 m ²	確認日	2021年5月19日
延床面積	2,255 m ²	確認者	滝口 珠生



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ★★★★★ 60%: ★★★★★ 80%: ★★★★★ 100%: ★★★★★ 100%超: ★★★★★

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.8

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

3 設計上の配慮事項		
総合	外皮性能全住戸等級4・省エネルギー化の達成と良好な住環境の両立に努めた。	
その他	0	
Q1 室内環境	ペアガラス、熱橋部の補強を採用し快適な室内環境を実現する努力をしている。	Q2 サービス性能
Q2 サービス性能	特になし	Q3 室外環境(敷地内)
Q3 室外環境(敷地内)	緑地計画等周辺地域に対しての良好な景観の維持に配慮した。	
LR1 エネルギー	全住戸外皮性能断熱等級4相当、BEI0.9	LR2 資源・マテリアル
LR2 資源・マテリアル	特になし	LR3 敷地外環境
LR3 敷地外環境	十分な駐車場・駐輪場のスペースを確保。広告物照明の計画なし。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される